

# 平成27年度 教育改革ICT戦略大会

## 開催要項

日時 平成27年9月2日（水）・3日（木）・4日（金）

会場 アルカディア市ヶ谷（東京、私学会館）

東京都千代田区九段北4-2-25 TEL:03-3261-9921 <http://www.arcadia-jp.org/access.htm>

JR中央線（総武線）／地下鉄南北線・有楽町線・都営新宿線 「市ヶ谷駅」下車 徒歩2分

主催 公益社団法人私立大学情報教育協会

後援 文部科学省（予定）

テーマ 「真の学力」を育成するための教育の大転換

### 開催趣旨

国は、未知の時代に向かって自ら考え行動できる学力を生涯に亘り身につけることができるよう大学教育の質的転換を図るとして、知識の伝達・注入型の授業から、思考力・判断力・表現力や主体性をもち多様な人々と協働できる「真の学力」の育成を急いでいる。それを実現するには大学だけで達成できるものではなく、高校教育との接続の中で最適な教育の仕組みを開発していく必要がある。

そこで本大会では、アクティブ・ラーニングなどによる教育改善、学修成果の把握と可視化に向けた教学マネジメントの確立、大学教育と高校教育をつなぐ入学者選抜のあり方などの観点から、「真の学力」を育成するための教育政策や教育方法、支援環境などについて総合的に探求する。

### ～タイムテーブル～

9月2日（水）全体会

9:50	開会挨拶
10:00	【アクティブ・ラーニングを知る】 アクティブ・ラーニングの重要性と課題
11:00	【全学へのアクティブ・ラーニング展開】 ポートフォリオを活用したアクティブ・ラーニングスキルの浸透
12:00	休憩
13:00	【反転授業を推進するための方策】 反転授業の実践を踏まえた 教室授業の工夫と教員への理解促進
14:15	休憩
14:30	【学生の主体性を引き出す新たな取り組み】 産学連携による「課題解決型」初年次教育
16:00	【変更】16:00～休憩
16:20	16:20～講演
17:20	17:20 終了
	【真の学力を育成するための教育改革】 未来への教育：高大接続システム改革の現状と展望
	終了

9月3日（木）テーマ別自由討議

10:00	分科会		12:30	
	【A】 地域社会での学修行動のモ ニタリングと たアクティブ・ ラーニングに よる人材育成	【B】 学修行動のモ ニタリングと 学修成果の可 視化		
12:30	ポスターセッション 概要		ポ ス タ ー セ ッ シ ョ ン	
12:45	休憩			
14:00	分科会			
	【C】 教学マネジメ ント体制の確 立への試み	【D】 価値を創出さ せるデータ活 用力の教育モ デル		
16:30	休憩			
16:45	情報交流会			
18:00	終了			17:00

9月4日（金）大会発表（77件）

	A	B	C	D	E	10:00	ポ ス タ ー セ ッ シ ョ ン
10:00							
11:00	休憩						
11:10							
12:10	ポスターセッション 概要						
12:20	休憩						
13:30							
14:30	休憩						
14:40							
15:40	休憩						
17:10	終了					17:30	

※C～Eは16：50終了

プログラムは次ページ以降をご覧ください。

# 平成27年度 教育改革ICT戦略大会 プログラム

9月2日 全体会

会場：3階富士

9:50	<b>開会挨拶</b> 公益社団法人 私立大学情報教育協会 向殿 政男 会長
10:00	<b>【アクティブ・ラーニングを知る】</b> <b>アクティブ・ラーニングの重要性と課題</b> 授業のアクティブ化とは、学生参加型や学生主体型の学修形態を取り入れていくとされているが、形態面ばかりに気をとられて教員としてどのように関わるべきか理解されていないきらいがある。そこで、アクティブ・ラーニングを進める上での確認事項として、何のために行うのか、それを実質化するために心得ておくべき留意点や課題は何かについて紹介いただく。 長崎大学大学教育イノベーションセンター教授 山地 弘起 氏
11:00	<b>【全学へのアクティブ・ラーニング展開】</b> <b>ポートフォリオを活用したアクティブ・ラーニングスキルの浸透</b> アクティブ・ラーニングを学士課程全般に浸透させていくため、初年次に専門領域での早期体験、反転授業の導入、グループワークの実践、学修ポートフォリオ、ティーチングポートフォリオの活用を通して、ラーニングとティーチングスキルの向上を目指した取り組みを紹介いただく。 徳島大学総合教育センター教育改革推進部門教授 川野 卓二 氏
12:00	休憩
13:00	<b>【反転授業を推進するための方策】</b> <b>反転授業の実践を踏まえた教室授業の工夫と教員への理解促進</b> 対話を通じて考える・行動するアクティブ・ラーニングを効果的に進めていくには、事前・事後学修としての反転授業による知識の定着・確認が不可欠となる。アクティブ・ラーニングで知識の活用・創造等の授業を教員に広めていく課題と方策等を反転授業の経験を踏まえて紹介いただく。 山梨大学大学教育センター副センター長 森澤 正之 氏
14:15	休憩
14:30	<b>【学生の主体性を引き出す新たな取り組み】</b> <b>産学連携による「課題解決型」初年次教育</b> 時代が変わりつつある中で、教員による一方的な教育から対話を中心とした教育に転換する必要があるが、組織的に推進されていない。そこで、初年次の早い段階から失敗を経験することで、学生が本気で学びたいと思わせる授業づくりが重要である。その先進的な事例として、企業と大学が連携したPBL型学習によるアクティブ・ラーニングの取り組みと成果、課題を紹介いただく。 ・初年次教育におけるPBL型授業と運営の工夫、受講生から見た学習効果の紹介 一般社団法人 Future Skills Project研究会 (FSP研究会) 事務局長 平山 恭子 氏 ・企業がPBL型授業に期待する内容と学習成果 元 株式会社資生堂人事部人材開発室室長兼キャリアデザインセンター長 現 実践女子大学教育研究センター 特任教授 深澤 晶久 氏 ・担当教員から見た学習成果と課題 上智大学 経済学部教授、キャリア形成支援委員会副委員長 荒木 勉 氏
<b>【変更】</b> 16:00～休憩 16:20～講演	<b>【真の学力を育成するための教育改革】</b> <b>未来への教育：高大接続システム改革の現状と展望</b> グローバル化、多極化が進む中で、地方の活性化で求められる力とは、知識・技能と思考力・判断力・表現力を持ち主体的に多様な人々と協働できる「真の学力」である。この力を身に付ける学びの場を創っていくためには、高校教育と大学教育を能動的学修に向けて転換するとともに、大学入学者選抜改革を含む抜本的な教育改革を進めることが不可欠であることを説明いただく。 独立行政法人日本学術振興会理事長、文部科学省顧問 安西 祐一郎 氏
17:20 終了	終了

## 9月3日 テーマ別自由討議

	会場：5階大雪	会場：5階穂高
10:00 ┆ 12:30	<p><b>【分科会A】</b> 地域社会での活躍を目指したアクティブ・ラーニングによる人材育成</p> <p>地域活動を組み込んだ行動型学修と学修意欲・自主性を引き出す参加型学修を組み合わせたアクティブ・ラーニングによる全学的な取り組みと、地域に根ざした学びを通じて、新しいビジネスや文化、行政サービスの創造を担える地域創生教育の取り組みを紹介いただき、地域に貢献する人材育成について探求する。</p> <p>課題提起：  <b>県立広島大学</b>          学長補佐(教育改革・大学連携) 馬本 勉 氏  <b>追手門学院大学</b>          地域創造学部教授・副学部長 山本 博史 氏</p>	<p><b>【分科会B】</b> 学修行動のモニタリングと学修成果の可視化</p> <p>4年間の体系的・組織的なアクティブ・ラーニングによる改革を進めるために、学修成果の可視化と授業外学修時間を保証するマネジメントの工夫や、学修到達度調査、学修行動調査、ルーブリック評価を統合した学修成果の可視化への取り組みを紹介いただき、学士課程教育の質保証を探求する</p> <p>課題提起：  <b>芝浦工業大学</b>          学術情報センター長 角田 和巳 氏  <b>山口大学</b>          大学教育機構大学教育センター准教授 林 透 氏</p>
12:30 ┆ 12:45	大学・企業によるICT導入・活用事例（ポスターセッション）の概要紹介	
12:45	休 憩	
14:00 ┆ 16:30	<p><b>【分科会C】</b> 教学マネジメント体制の確立への試み</p> <p>正課授業と正課外学修を連動させ、能動的な学修を支援するeシラバスによる相互点検、学修データからフィードバックする修学指導への取り組みと、教学マネジメントチームによる全学的な授業設計方法と成績評価の改善、教学IRシステムによる学士力の可視化などの取り組みを紹介いただき、教学体制の確立を探求する。</p> <p>課題提起：  <b>金沢工業大学</b>          情報処理サービスセンター所長 河合 儀昌 氏  <b>横浜国立大学</b>          大学教育総合センター長 梅澤 修 氏</p>	<p><b>【分科会D】</b> 価値を創出させるデータ活用力の教育モデル</p> <p>学士力の一環として身につけるべき大学共通の情報リテラシー教育の在り方として、情報を収集・集計・分析・統合し、価値を創出するデータ活用力の育成が求められている。社会に出て解のない問題にチャレンジできるようにするため、分析から課題解決、価値創出までの教育モデルについて提案し、意見交換する中でガイドラインを確認する。</p> <p>紹介：  <b>公益社団法人 私立大学情報教育協会</b>          情報教育研究委員会 情報リテラシー・情報倫理分科会</p>
16:45 ┆ 18:00	<p>情報交流会</p> <p style="text-align: right;">※参加費 別途4,000円が必要です。</p> <p style="text-align: right;">会場：6階伊吹</p>	
12:30 ┆ 17:00	<p>大学・企業によるICT導入・活用事例（ポスターセッション）</p> <p style="text-align: right;">会場：5階廊下</p>	

## 9月4日 大会発表（77件）

別紙の発表一覧をご覧ください。

# 平成27年度 教育改革ICT戦略大会 9月4日(金) 発表一覧(77件)

\*発表者名は、発表代表者名のみ掲載しています。会場は5会場で同時開催します。

	発表番号	分野	発表タイトル	発表代表者名	大学名	会場	
10:00	A-1	双方向授業	他者の考えをリアルタイムに知ることで気づかせるプロフェッショナルリズム教育授業	岡田 みどり	東京女子医科大学	5 F 穂 高 東	
10:20	A-2	双方向授業	クリッカーを活用した双方向授業と学業成績との相関	武田 直仁	名城大学		
10:40	A-3	双方向授業	クリッカーシステム開発・導入によるスマートフォン使用学生対策と授業双方向性の向上	神谷 達夫	成美大学		
11:00	休憩(10分)						
11:10	A-4	双方向授業	ICTを利用した大教室授業での主体的・実践的な学びの可能性	伊藤 友章	北海学園大学		
11:30	A-5	双方向授業	携帯端末向け短文投稿システムを活用するマルチスクリーン環境での授業展開	中西 裕	就実大学		
11:50	A-6	双方向授業	WEBによるディベート判定システムの開発と利用	藤田 勝康	北海道科学大学		
12:10	大学・企業連携による実践事例の概要(10分)						
12:20	休憩(70分)						
13:30	A-7	事前・事後学習	事前学修としての本読みを徹底するための小テストの試み	梶木 克則	甲子園大学		
13:50	A-8	事前・事後学習	事前事後学習の促進および学習管理力の向上を目指した授業計画	若菜 啓孝	長崎大学		
14:10	A-9	事前・事後学習	プログラミング科目の予習・復習を促す機会向上に関する一考察	館 宜伸	金沢工業大学		
14:30	休憩(10分)						
14:40	A-10	事前・事後学習	ICTを利用した看護教育:演習と事前事後学習の支援	貞野 宏之	福岡女学院看護大学		
15:00	A-11	事前・事後学習	授業支援システムを活用したアクティブラーニング 社会的実践力養成科目への適用	鹿田 光一	東海大学		
15:20	A-12	事前・事後学習	ブログ等による英語自習促進の試み	梅田 礼子	大同大学		
15:40	休憩(10分)						
15:50	A-13	反転授業	PCスキル系授業における反転授業の課題とその対応について	山下 泰生	関西国際大学		
16:10	A-14	反転授業	予習・復習に重点をおいた初級プログラミングの授業実践—3年間の反転授業の取り組み	松本 章代	東北学院大学		
16:30	A-15	反転授業	会計学初等教育における反転授業およびグループワーク	木本 圭一	関西学院大学		
16:50	A-16	反転授業	反転授業とeラーニングの組み合わせによる初修外国語の効果的運用の試み	里村 和秋	成蹊大学		
10:00	B-1	授業方法	ファイルマネージャソフトウェアを用いた小レポート採点の効率向上支援の提案と実践	原 敏	山梨学院大学	5 F 穂 高 西	
10:20	B-2	授業方法	SNSを利用したゼミ発表	周 錦樟	南山大学		
10:40	B-3	授業方法	Moodle を授業の中心とした統計処理系科目の展開	安田 俊一	松山大学		
11:00	休憩(10分)						
11:10	B-4	授業方法	学生の学習意欲向上を目的とするMoodleによる授業の実施	上田 敏樹	大谷大学		
11:30	B-5	授業方法	初等統計学の授業でのアクティブラーニングの構想	本間 学	中村学園大学		
11:50	B-6	授業方法	未利用な数学学修支援フリーソフトの経済学・学部用理論教育への活用法	小川 健	専修大学		
12:10	大学・企業連携による実践事例の概要(10分)						
12:20	休憩(70分)						
13:30	B-7	産学連携	金融経済教育と地元企業の研究を題材としたアクティブ・ラーニング:Webイベントの活用	児島 完二	名古屋学院大学		
13:50	B-8	産学連携	実企業テーマおよびICT活用によるアクティブラーニング講義の学習意欲の向上事例	樋渡 雅幸	明治大学		
14:10	B-9	産学連携	企業と連携した情報システム企画の実践的教育への取り組み	山田 耕嗣	大阪産業大学		
14:30	休憩(10分)						
14:40	B-10	PBL	デジタルネイティブ・マルチメディア世代を対象とするICTを活用した国際理解教育	森田 明彦	尚絅学院大学		
15:00	B-11	PBL	課外活動と正課授業でのアクティブ・ラーニング	三嶋 昭臣	金沢工業大学		
15:20	B-12	PBL	ICT機器やネットワーク環境を用いた老年看護学演習の効果	大谷 順子	旭川大学		
15:40	休憩(10分)						
15:50	B-13	PBL	クリティカル・シンキング定着を目指した教育~科目内外プロジェクトワークを通じて~	亀井 あかね	東北工業大学		
16:10	B-14	PBL	ソーシャルメディアを活用した自由が丘グルメ分析の実践	白土 由佳	産業能率大学		
16:30	B-15	PBL	グローバル、ICT、地域社会連携をキーワードに展開するアクティブラーニングの実践	山本 敏幸	関西大学		
16:50	B-16	PBL	PBLによる地域活性化のためのアプリ開発	酒井 恵光	大谷大学		
10:00	C-1	教材開発	3次元CAD資格取得支援のためのe-Learning教材開発と活用	金 炯秀	日本大学	5 F 大 雪 東	
10:20	C-2	教材開発	数式自動採点eラーニングシステムによる理工系初年次教育の試み	樋口 三郎	龍谷大学		
10:40	C-3	教材開発	工学系理数基礎科目における習熟度別学修システムの構築	神谷 克政	神奈川工科大学		
11:00	休憩(10分)						
11:10	C-4	教材開発	理学療法専門科目におけるタブレット端末を用いたICT活用授業の試み	塚田 絵里子	帝京科学大学		
11:30	C-5	教材開発	理学療法士養成課程におけるICTを活用した理学療法技術習得への取り組み	根地嶋 誠	聖隷クリストファー大学		
11:50	C-6	教材開発	医療専門職国家試験対策自主学习ソフトの開発とその使用方法	神崎 秀嗣	大和大学		
12:10	大学・企業連携による実践事例の概要(10分)						
12:20	休憩(70分)						
13:30	C-7	教材開発	汎用教育ツールとしてのビジネス・ゲーム開発の一つの試み	小笠原 宏	流通科学大学		
13:50	C-8	教材開発	歴史的電子音楽資料データベースを応用した教育システムの構築	石上 和也	大阪芸術大学		
14:10	C-9	教材開発	自学自修を目的とした動画教材作成環境の構築とLMSを使った動画教材提供方式の検討	出木原 裕順	広島国際大学		
14:30	休憩(10分)						
14:40	C-10	語学教材	eラーニングソフトの有機的融合による効果的ライティング指導	川村 幸夫	東京理科大学		
15:00	C-11	語学教材	eラーニング日本語コースのための学習環境づくり	尹 智鉉	早稲田大学		
15:20	C-12	語学教材	ICTを活用したプレ留学プログラム構築に向けた日本語映像教材開発の取り組み	高井 美穂	摂南大学		
15:40	休憩(10分)						
15:50	C-13	語学教育	ICTを活用した組織的な英語運用能力向上プログラム	川井 一枝	いわき明星大学		
16:10	C-14	語学教育	理系学科における英語教育モデルの再構築:1年目の成果と2年目の課題	小栗 成子	中部大学		
16:30	C-15	語学教育	共通教育における中国語教学体系の確立(事前事後学習を含めて)	甲斐 勝二	福岡大学		

	発表番号	分野	発表タイトル	発表代表者名	大学名	会場	
10:00	D-1	授業支援ツール	時系列表示とOCR連携を特徴とするLMSのタブレットインターフェイス開発	原田 章	追手門学院大学	5 F 大 雪 西	
10:20	D-2	授業支援ツール	レーザ測域センサを活用した英語ライティング添削システムの開発と実践報告	安藤 香織	芝浦工業大学		
10:40	D-3	授業支援ツール	手書き漢字自動採点システムを利用した事前・事後学習の実践	井戸 伸彦	岐阜経済大学		
11:00	休憩(10分)						
11:10	D-4	授業支援ツール	アクティブ・ラーニングとしてのPBLの学習支援ツール -ATSSの開発と運用-	山田 和人	同志社大学		
11:30	D-5	授業支援ツール	ICT活用によるアクティブラーニングの学習効果の評価手法の構築に向けて	西牧 可織	北海道医療大学		
11:50	D-6	授業支援ツール	ジェネリックスキルに基づくグループ形成方法の検討	二瓶 裕之	北海道医療大学		
12:10	大学・企業連携による実践事例の概要(10分)						
12:20	休憩(70分)						
13:30	D-7	携帯端末	学生のスマートフォン等を活用したアクティブ・ラーニング	福永 栄一	大阪成蹊短期大学		
13:50	D-8	携帯端末	普通教室におけるICTを活用した英語授業の実践	楠木 佳子	広島工業大学		
14:10	D-9	携帯端末	オンラインストレージとスマホを活用したPBLにおける主体的な授業外学習の試み	広川 美津雄	東海大学		
14:30	休憩(10分)						
14:40	D-10	情報教育	初年次情報リテラシー教育科目の現状-履修者のスキル・意識・学習環境からの検証-	記谷 康之	広島修道大学		
15:00	D-11	情報教育	留学生と情報教育およびその役割	ZHAN PING	江戸川大学		
15:20	D-12	情報教育	家政系短期大学生を対象とした情報セキュリティ教育一学びと実際の融合-	有田 真貴子	中村学園大学短期大学部		
15:40	休憩(10分)						
15:50	D-13	プログラミング	プログラミング教育におけるつながりを意識したテーマ設定とその展開	森下 博	兵庫大学		
16:10	D-14	プログラミング	ロボットプログラミング授業における教室内外でシームレスな実験環境の構築	松尾 直志	立命館大学		
16:30	D-15	プログラミング	グループワークを中心としたモバイル対応アプリプログラミングの取り組み	石井 雅章	神戸外語大学		
10:00	E-1	入学前教育	視覚聴覚二重障害のある大学進学希望者のためのeラーニングによる入学準備学習の検討	庄内 慶一	拓殖大学北海道短期大学	7 F 妙 高	
10:20	E-2	入学前教育	三者協働型MOOCの実践例:入学前教育プログラム制作から運営まで	佐々木 知彦	関西大学		
10:40	E-3	入学前教育	授業で必要な基礎学力向上及び学力の把握を目指したmoodleの改良について	石田 俊一	九州産業大学		
11:00	休憩(10分)						
11:10	E-4	学修支援	心理学系授業におけるLMSを活用したCan do checkの導入の試み	宮崎 龍二	広島国際大学		
11:30	E-5	学修支援	ICTを活用した学修支援の実証的研究	加藤 成明	愛知産業大学		
11:50	E-6	学修支援	学生の人間形成を目的としたSNS導入に関する考察	田島 博之	秀明大学		
12:10	大学・企業連携による実践事例の概要(10分)						
12:20	休憩(70分)						
13:30	E-7	キャリア教育	短期大学の情報系インターンシップと学習及び就職意欲に関する考察	小田井 圭	湘北短期大学		
13:50	E-8	キャリア教育	デジタルノートとキャリア支援システムの融合による学習成果の有効利用に関する研究	栗田 るみ子	城西大学		
14:10	E-9	キャリア教育	経営学部キャリア教育プログラムにおけるFacebook活用の試み	関 哲人	北海学園大学		
14:30	休憩(10分)						
14:40	E-10	ポートフォリオ	大学間連携における学習者特性の可視化システムの提案	山川 広人	千歳科学技術大学		
15:00	E-11	ポートフォリオ	看護学生の主体的学習能力獲得を支援するe-portfolioシステム	嶋澤 順子	東京慈恵会医科大学		
15:20	E-12	ポートフォリオ	グローバル人材育成プログラム支援システムの開発	大津 敦史	福岡大学		
15:40	休憩(10分)						
15:50	E-13	授業改善	質保証の実現を目指した科目間連携の試み~幼保人材の育成を題材として~	波多野 和彦	江戸川大学		
16:10	E-14	授業改善	授業評価アンケートの学内実施による授業改善への取り組み	有田 亜希子	清泉女子大学		
16:30	E-15	授業改善	教養教育における講義とe-Learningの望むべき関係	伊藤 圭一	豊橋創造大学短期大学部		

## 大学・企業連携によるICT導入・活用事例紹介 (ポスターセッション)

日時: 9月3日(木)12:30~17:00 / 9月4日(金)10:00~17:30  
会場: 5F 廊下

大学・短期大学と本協会の賛助会員企業との連携によるICT導入・活用の事例紹介をポスターセッション形式で行います。事例内容は、8月下旬にWebに掲載します。



**申込方法** **Webからの申込み**

下記Webの「参加申込み」ボタンを押し、画面表示に従って入力、送信下さい。

<http://www.juce.jp/LINK/taikai/taikai2015.htm>

**FAXでの申込み**

別紙の申込用紙に記入の上、送付下さい。 **FAX: 03-3261-5473**

※申込内容で協会が取得する個人情報、次の目的により利用します。「大学名、氏名、所属（学部、部署）」は、当日配布する資料（冊子）に参加者名簿として掲載します。「電子メールアドレス」は、今後の事業案内の連絡先情報として利用します。

**申込締切** **8月27日(木)**

※締切日以降の申込や当日申込も受け付けます。

※締切日までに申込まれた方の大学名、氏名を当日配布の予稿集の参加者名簿に掲載します。

**参加費振込** できるだけ**8月27日(木)**までに振込み下さい。

**一括申込みの場合**

振込依頼人名には、大学名（社名）の他にできるだけキャンパス名または部署名を入れて下さい。

**個人申込みの場合**

振込依頼人名には、大学名と氏名の両方をできるだけ入れて下さい。

**振込先**

りそな銀行 市ヶ谷支店 普通 0 4 3 4 6 3 5 シジョウキョウ (タイカイサンカヒ) 私情協 (大会参加費)  
〒102-0073 千代田区九段北4-1-14 九段北TLビル4F TEL:03-3261-2798

\*振込手数料は申込者各自で負担願います。

\*銀行のATM機で振込みますと、本協会の口座名義人が上記略称ではなく、本協会の正式名称「公益社団法人私立大学情報教育協会・・・」で表示されますのでご了承下さい。

\*8月31日(月)までのキャンセルは、参加費から振込手数料を差し引いた金額を返金します。  
それ以降のキャンセルについては、資料代(送料含む)、振込手数料、その他実費(情報交流会申込みの場合)を請求させていただき、後日資料を郵送いたしますので、ご了承下さい。

**参加費** **3日間参加で割引に!** **加盟校 27,000円→21,000円** **非加盟校 54,000円→42,000円**

※9月3日「情報交流会」は別途、下記の参加費が必要です。

※9月4日発表者は全プログラムに参加可能(申込不要)ですが、9月3日情報交流会は一般申込み・参加費が必要です。  
発表者や共同研究者等の参加費についての詳細は下記サイトをご覧ください。

<http://www.juce.jp/LINK/taikai/15happyo/sankahi.htm>

※参加費はすべて税込金額	9月2日(水)	9月3日(木)	9月3日(木) 情報交流会	9月4日(金)
加盟大学・短期大学、賛助会員	9,000円	9,000円	4,000円	9,000円
非加盟大学・短期大学	18,000円	18,000円	4,000円	18,000円

当協会加盟校は右サイトで確認下さい <http://www.juce.jp/LINK/kaiin/univ2.htm>

**参加者には、加盟校に限定して当日の発表スライド(許可が得られたもの)を後日閲覧できるようにします。**



**問い合わせ・送付先**

**公益社団法人私立大学情報教育協会事務局**

〒102-0073千代田区九段北4-1-14 九段北TLビル 4F

TEL:03-3261-2798 FAX:03-3261-5473 E-mail:info@juce.jp (問い合わせ用)

<http://www.juce.jp/LINK/taikai/taikai2015.htm>

# 平成27年度 教育改革ICT戦略大会 参加申込用紙

連絡代表者

大学名・社名	部署名		担当者名	
	連絡先	大学 ・ 自宅 ・ 会社	TEL	FAX
	住所 〒			

領収書 8月27日振込分まで当日名札に付けてお渡しし、以降は連絡代表者に郵送します。

参加費一覧表

参加日数	9月2日	9月3日	情報交流会	9月4日	合計(円)	
					会員校	非会員校
3日間	○	○	○	○	25,000	46,000
	○	○		○	21,000	42,000
2日間	○	○	○		22,000	40,000
	○	○			18,000	36,000
	○		○	○	22,000	40,000
	○			○	18,000	36,000
			○	○	22,000	40,000
			○	○	18,000	36,000
1日	○		○		13,000	22,000
	○				9,000	18,000
		○	○		13,000	22,000
		○			9,000	18,000
			○	○	13,000	22,000
				○	9,000	18,000

宛名	: 個人名 ・ 大学名(社名)
金額(複数名申込みの場合):	参加者人数分まとめて一括 ・ 参加者ごとに1枚ずつ記入

**3日間参加すると、割引になります**  
**加盟校 27,000円→21,000円 非加盟校 54,000円→42,000円** ※1,2

- ※1 9月3日「情報交流会」は別途、参加費(4,000円)が必要です
- ※2 9月4日の発表者は全プログラムに参加可能(申込不要)ですが、9月3日情報交流会は一般申込みと参加費が必要です
- ※3 電子メールアドレスは、当協会のイベント案内に利用し、目的以外の利用もしくは第三者提供はいたしません。

氏名	所属・役職名	9月2日	9月3日	情報交流会 (9月3日)	9月4日	合計金額
	E-mail ※3	該当する金額に○をつけ、3日、4日については、「主に参加する」分科会やグループに○をつけて下さい。 当日、参加分科会・グループの変更、移動は可能です。				
	会員: 9,000円	会員: 9,000円	午前: A・B	会員: 4,000円	会員: 9,000円	A・B・C D・E 円
	非会員: 18,000円	非会員: 18,000円	午後: C・D	非会員: 4,000円	非会員: 18,000円	
	会員: 9,000円	会員: 9,000円	午前: A・B	会員: 4,000円	会員: 9,000円	A・B・C D・E 円
	非会員: 18,000円	非会員: 18,000円	午後: C・D	非会員: 4,000円	非会員: 18,000円	
	会員: 9,000円	会員: 9,000円	午前: A・B	会員: 4,000円	会員: 9,000円	A・B・C D・E 円
	非会員: 18,000円	非会員: 18,000円	午後: C・D	非会員: 4,000円	非会員: 18,000円	
	会員: 9,000円	会員: 9,000円	午前: A・B	会員: 4,000円	会員: 9,000円	A・B・C D・E 円
	非会員: 18,000円	非会員: 18,000円	午後: C・D	非会員: 4,000円	非会員: 18,000円	

**合計** 円